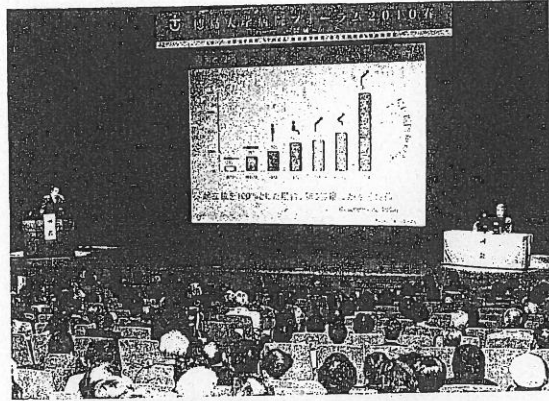


2010. 2. 14 (日)

徳島新聞



腰痛とがんをテーマに開催された
徳島大学病院フォーラム2010春
＝あわぎんホール

がん・腰痛予防指南

徳大病院
フォーラム 医師ら7人講演

徳島市

腰痛、がんの予防や最
先端治療をテーマにした
市民公開講座「徳島大学
病院フォーラム2010
春」（同病院、徳島新聞
社など主催）が13日、徳
島市内のあわぎんホール
であり、同病院の医師ら
7人の講演に約800人
が耳を傾けた。
「腰痛総論」と題して
話した同病院整形外科の
加藤真介副科長は、椎間
板ヘルニアについて「肛
門の周りがしびれるなど
日常生活に支障を来す場
合は手術が必要だが、ま
ずは運動、薬物療法を試
して効果を測るべきだ」と
強調。その上で「骨粗
しょう症の改善や背筋、
腹筋など筋力を鍛えるこ
とも腰痛の予防や緩和に
役立つ」と説いた。

同大がん診療連携セン
ターの生島仁史副センタ
ー長は「切らずに治すが
ん治療」をテーマに講
演。腫瘍以外の部分に当
たらず副作用の少ない
「ピンポイント照射法」
など最先端の放射線治療
について、「手術が不可
能な場合や臓器の機能を
温存する際に有用」と話
した。
昨年12月から国内でも
ワクチン接種が始まった
子宮頸がんの予防や緩和
ケアについての講演もあ
った。